



# 由布市

YUFU CITY COUNCIL

# 議会だより

No.64  
2021年11月



## 4年間ありがとうございました。

### CONTENTS

◆ 令和3年第3回定例会	概要・議案質疑・討論	1
	常任委員会報告	2
◆ 決算特別委員会	概要	3
◆ 市政を問う(一般質問)		3~6
〈浏野けさ子 議員〉	気象防災アドバイザーの活用について、他	
〈平松恵美男 議員〉	挾間小学校の今後について	
〈加藤裕三 議員〉	都市計画マスタープランについて、他	
〈田中真理子 議員〉	令和2年度決算の評価について、他	
〈佐藤郁夫 議員〉	由布市過疎地域持続的発展計画について、他	
〈田中廣幸 議員〉	由布市内の防災・減災について、他	
〈高田龍也 議員〉	由布市の防災対策について、他	
〈吉村益則 議員〉	環境行政について、他	
〈坂本光広 議員〉	小中学校の現状について	
〈加藤幸雄 議員〉	所有者不明の土地について、他	
〈佐藤孝昭 議員〉	由布市の幼児教育・保育行政について、他	
〈長谷川建策 議員〉	旧湯布院公民館の跡地利用について、他	
〈鷲野弘一 議員〉	由布市災害ボランティアバイク隊について、他	
〈太田洋一郎 議員〉	水源地を守れ、他	
◆ 請願・陳情結果、賛否一覧、編集後記等		裏表紙

## 令和3年第3回定例会

- 期間：令和3年9月8日～9月28日（21日間）
- 事件：報告12件、認定3件、承認1件、議案12件、請願2件、継続審査中の陳情2件、発議4件（認定3件は決算特別委員会（P3）、その他議案は委員会報告（P2）を参照）
- 概要
- 専決** 令和3年度由布市一般会計補正予算（第4号）の承認についての内容は、今年8月の大雨対応に係る人件費、土のう袋用の砂代、被災箇所の応急工事費等。
- 予算** 各特別会計補正予算（4議案）は、令和2年度決算確定に伴う繰越金、基金積立金、返還金等の補正。
- 発議** 条例改正2件は、議員定数改定による常任委員会委員数の改正、および議員報酬の日割り計算に関する改正。意見書2件は、コロナ禍による厳しい地方財政への対処を国へ求めるもの、および請願採択により種子条例制定を大分県議会へ求めるもの。

## 議案質疑

## 由布市過疎地域持続的発展計画について

**Q** 過疎債と辺地債の計画はどのように立てているのか。

**A** 過疎計画は庄内地域全体が対象で過疎債は70%の交付税措置、辺地計画は市内特定地域が対象で辺地債は80%の交付税措置。どちらの財源とするかは担当課と財政課で協議して振り分けている。

## 令和3年度由布市一般会計補正予算(第5号)

**Q** 歳入における県商工費補助金の地域活力づくり総合補助金の減額および自然環境整備事業費補助金の増額と歳出の関係は。

**A** 地域活力づくり総合補助金の内訳は、城ヶ原農村公園と男池の災害復旧工事に関する補助金の減額だが、男池に関してはより補助率の高い自然環境整備事業に該当することとなった。歳出の補正は無いが、歳入において補助事業の組換え（補助率1/3→1/2）となり、補助金の増額となった。

**Q** 未整備森林整備事業について、森林環境譲与税は高津原川の木の処分にも使えるか。

**A** 災害による倒木の処分には、森林環境譲与税は使えないと返答されている。

**Q** 挾間小学校の拡張用地取得について、運動場は現状のままか。

**A** 増築は関係者等の意見を取り入れながら行いたく、運動場、遊具、樹木などの施設環境整備も併せて行っていきたい。

## 討論

## 請願4 「大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書」に関する請願書

## 産業建設常任委員長報告

県の現行条例や要綱等により請願趣旨はある程度守られているとはいえ、請願者の願意にあるように法律の廃止による影響への不安要素も理解できることから、県に現行条例等の再考を促すことも必要と考えられ、採択すべきと決定した。

## 反対討論

（鷲野弘一議員）内容的に議論が足りないと思う。県は来年度から「なつほのか」という品種の米を導入したりもしている。私の知る限り地元野菜は種子法には関係なく、その辺が入り乱れすぎているんじゃないかと思い、もう少し討議をすべきだと思う。

## 賛成討論

（佐藤郁夫議員）3年前に種子法が廃止されてから不具合の部分があるということで、27道府県も条例としている。主要農産物の種だけではなく伝統品種や県のブランド野菜や果物などを守り、農民生産者も安心して取り組める。由布市の農業者の願意を汲んで賛成すべきである。

## 総務常任委員会

- 由布市過疎地域持続的発展計画について
- 由布市企業立地促進条例の一部改正について
- 由布市税特別措置条例の一部改正について

「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」の施行に伴う計画策定や条例改正。庄内地域が引き続き過疎地域とみなされ、令和3～7年度までの5年間の過疎計画を策定するもの。委員会では、計画策定後の事業執行について、目的に沿った有意義な事業を優先して執行すべきとの意見が出た。

### ○令和3年度由布市一般会計補正予算（第5号）

**歳入歳出予算の総額に2億4千709万5千円を追加し、総額を214億4千896万7千円とするもの。**

**歳入** 国からの通知を受けた第4次新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金646万3千円や、昨年度末より行っている地域福祉基金及び地域振興基金の国債運用による利息見込み554万9千円が主なもの。現在の国債購入額は計20億円で、年間の利息見込み額は約880万円との説明を受けた。

**歳出** 移住者等居住支援事業費補助金などの増額はコロナ禍による移住機運の高まりによるもの。湯平温泉地域資源再生復興事業補助金は昨年豪雨災害からの復興に向けたもの。委員より、地域おこし協力隊員2名の新規採用は地域振興及び地域活性化に向けた明確なビジョンを持ち行動できる方の採用に努めてほしいとの意見が出た。

## 教育民生常任委員会

### ○令和3年度由布市一般会計補正予算（第5号）

**歳入** 衛生費国庫補助金4,501万円は新型コロナウイルスワクチン接種対策確保事業に係るもの。

**歳出** 新型コロナウイルスワクチン個別接種等委託料として8,180万円の増額。挟間小学校用地拡張に向けた測量調査費等として364万円の増額。県道湯平温泉線改良工事に伴う湯平地区公民館グラウンド付帯設備解体等工事費として1,334万9千円の増額。委員より、健康温泉館利用促進事業について、年間修繕計画に沿った計画的な予算執行を実施してほしいとの意見を付した。

## 産業建設常任委員会

### ○字の区域の変更について

庄内町柚ノ木地区1工区の土地改良事業の竣工に伴い、北大津留字「久保ノ鶴」「苑田」「ハリ山」「久保田」の区域を変更するもの。

### ○令和3年度由布市一般会計補正予算（第5号）

**歳出** 森林環境譲与税を使用し由布川峡谷に県産木材製防護柵設置費として1,030万円の増額。市道瓜生田上々淵線山側のり面崩壊に係る復旧工事費として2,325万4千円の増額。挟間町「下市」「古野」の排水路整備工事費の増により600万円の増額。令和2年7月豪雨災害に関して、庄内町高津原水路の災害復旧工事に係る業務を大分県に委託する事務費および湯布院町の鹿出橋の復旧において護岸工事の追加により3,718万円の増額。委員より、道路建設に係る土地購入費について、地元との協議を早急に進めながら今年度中の予算執行に努めるよう意見を付した。

### ○令和3年度由布市水道事業会計補正予算（第2号）

県道小挟間大分線の改良工事に伴う送配水管布設替え工事および挟間町赤野地区配水管更新工事に伴う工事費の増額によるもの。

	補正額	総額
資本的収入	+1,171万6千円	3億0,396万円
資本的支出	+1,296万9千円	6億1,379万円

# 決算特別委員会

今定例会にて令和2年度の決算を審議しました。委員会では、各委員より31項目にわたり質疑を行い、予算執行率等から事業の成果・評価等を確認しました。

## 一般会計収支の状況（万円未満は四捨五入）

	令和2年度 $\alpha$	令和元年度 $\beta$	対前年度増減 ( $\alpha - \beta$ )
歳入総額 A	250億3,757万円	184億7,164万円	+65億6,593万円
歳出総額 B	240億7,152万円	179億1,745万円	+61億5,407万円
形式収支 (A-B) C	9億6,605万円	5億5,419万円	+4億1,186万円
翌年度繰越財源 D	2億8,701万円	1億2,017万円	+1億6,684万円
実質収支額 (C-D)	6億7,904万円	4億3,402万円	+2億4,502万円

## その他会計収支の状況（万円未満は四捨五入）

	歳入総額 $\gamma$	歳出総額 $\Delta$	収支 ( $\gamma - \Delta$ )	
国民健康保険特別会計	41億3,602万円	40億3,568万円	1億0,034万円	
介護保険特別会計	41億6,745万円	41億1,432万円	5,313万円	
農業集落排水事業特別会計	9,285万円	9,139万円	146万円	
後期高齢者医療特別会計	4億5,666万円	4億5,473万円	193万円	
水道事業会計	収益的	8億7,575万円	7億6,763万円	1億0,812万円
	資本的	2億6,931万円	5億6,157万円	-2億9,226万円
由布大分環境衛生組合一般会計	5億1,320万円	4億8,672万円	2,648万円	

## 決算特別委員会として

引き続き新型コロナウイルス感染症への対応と災害からの復旧への支援、新たな財源の取り組みを進めるとともに、健全な財政運営に努め、市民サービスの向上に向け努力していただきたいとの意見を付した。



刈野 けさ子 議員

気象防災アドバイザーの活用について、他

- Q 防災力向上へ気象防災アドバイザーの活用を。防災減災対策が今後行政の大きな柱となる。専門家が自治体をサポートする意義は大きい。地方気象台OBの方の協力は頂けないか。
- A 市が独自でどういう形が良いのかを今後十分研究していきたい。そうした事が今後さらに必要になる事は十分認識している所です。
- Q 由布市独自の「結婚証明書」の発行が出来ないか。コロナ禍で働く人々の意識や企業の対応も大きく変化している。ブライダル業はフォトウェディング、家族婚、ロケーションフォトが増えている。今後のブライダルが地域おこしや町おこしに役買イベントに期待して、是非とも実現していただきたい。
- A 戸籍法以外の証明書については、その区別を明確にする必要があるが婚姻、移住定住、市内企業との連携等地域おこしや由布市のPRにつながるものと考えて現在前向きに検討している所です。  
その他、心のケアの現状、サントピア古野の道路災害対策、くすの木児童クラブの今後は、NET119導入の考えは、も質問しました。くわしくは議会ホームページの録画をごらん下さい。



吉村 益則 議員

環境行政について、他

- Q 環境行政について
- A 汚泥再生処理センター整備事業並びに新環境センター整備事業は順調に推移しており、今後ゴミ中継施設に伴う基本調査を行う。  
脱炭素型地域づくりモデル形成事業は、調査を基に温泉熱の利用用途などの検討を行い事業化に向けて研究していく。
- Q 働き方改革について
- A 特定事業主行動計画を作成し、全ての職員が働きやすい環境の整備に努めている。  
今後の働き方改革の為に業務の効率化と省力化、職員の自己啓発を促すことにより行政サービスの向上に努める。また、有給休暇15日以上や5日以上の連続休暇、午後5時退社といったGOGO運動を目標として働き方改革を進めていく。
- Q まちづくりについて
- A 総合計画基本構想にあわせて重点戦略プランを作成し取り組んでいるが、災害やコロナ禍の中で成果指標に達していないものがある。  
まちづくりは各政策を組み合わせ総合的に進める事で成果に結び付くものなので、丁寧に「地方自治を大切にしたい住み良さ日本一の町」を目指す。



平松 恵美男 議員

挟間小学校の今後について

- Q 教育長は令和2年第1回定例会での私の質問の答弁で「挟間小学校の教室については令和8年度までは現状の校舎で対応できる予定で増築等は考えてない」とのこと。令和8年度以降に増築等の計画の有るのか。
- A 令和8年度以降の増築等に向けて、との考えでしたが挟間地域の人口が想定していたより増加傾向にあり、それに伴い挟間小学校の児童数の増加が予想以上に増える状況です。また、義務教育標準法が令和3年4月1日に改正、施行され公立小学校の1クラス当たりの定員が40人以下から35人以下に引き下げられたことから、令和7年度には全ての学年で35人学級化される予定です。これらのことを踏まえ令和8年度以降の増改築を想定していましたが、教室の確保に伴う学校用地の確保及び増改築等に向け準備を行っていくための経費を今議会の補正予算に計上しているところです。
- Q いつ頃を目途に前倒ししていただけるか。
- A 令和8年度には新たな増築の教室が利用できるよう計画で予算等をお願いして行きたい。



坂本 光広 議員

小中学校の現状について

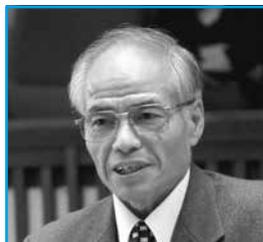
- Q 校内・家庭内感染の対策は。
- A 1人1台のタブレット端末を導入し、コロナウイルス感染症に関係して欠席した児童生徒の学習補充を計画しています。学校内では文科省の衛生管理マニュアルに対応した由布市学校再開ガイドラインに沿って子どもたちの安心、安全な生活に最大限の努力をしています。ワクチン接種につきましては、教職員、12才から15才までの児童生徒に優先接種を進めていただいています。
- Q 水害等に対する避難訓練の状況は。
- A 水害対応の避難訓練を行った学校は3校となっており、保護者へ子どもたちを引き渡す訓練を行っています。全家庭に緊急用の連絡メールをゆふぽを通じ加入していただいております。このメールに送信し、各御家庭にお迎えに来ていただく。迎えが難しいお子さんについては学校で待機していただく対応を考えております。



加藤 裕三 議員

都市計画マスタープランについて、他

- Q 都市計画マスタープランについて。
  - A 令和3年3月に大分県都市計画マスタープランが改訂され、「コンパクト・プラス・ネットワーク型」を目標としている。由布市区域は農村風景や田園風景と調和した生活都市の形成を目指す。湯布院の農振地域は保全する立場で除外した区域設定を行っている。無秩序な開発抑制のため、特定用途制限地域等の指定に向け取り組む。
  - Q 湯布院町上水道のについて
  - A 由布市全体として、上水道と簡易水道事業を統合し一体的な経営を行っている。人口減少や節水機能向上により給水量、給水収益は減少傾向にある。大分地震の影響により有収率が低下し回復していない状況にある。老朽管の改修を進め、効率的な事業経営に努め、持続可能な経営基盤確立を進める。
- その他、「市道並柳線の改修について」「これからの市政運営について」



加藤 幸雄 議員

所有者不明の土地について、他

- Q 所有者不明の土地について、現状は
- A 所有者不明の土地65件、470筆、家屋15件、28棟となっている。
- Q 児童の学習指導について、先生方の気質はどんな感じか。
- A 子供たちの明日のため、目標や夢、確かな力を付けるやる気スイッチを入れる教職員を目指している。
- Q 小学校の高学年は教科専任性になるという事だが、由布市はなっているか。
- A 一部の学校では既に授業を行っている
- Q 激甚災害の復旧状況について、災害復旧の道路や水路はいつ終わるか。
- A 災害復旧法によると、基準日から3か年度までとなっている。
- Q 災害に遭った人はうちは何番目かと思っているが、順番は。
- A 農業施設、道路、水路、田んぼの順に発注している。地区での順番は決めていない。要な施設、頭首工や大きな幹線道路、水路の順番になっている。
- Q 農家の人は作付けに間に合うか、今年は何を作ろうかです。
- A 課内で検討し、順番をお知らせ出来ないか判断したいと考えている。
- Q 早急に整備できるようよろしくをお願いします。



田中 真理子 議員

令和2年度決算の評価について、他

- Q** 令和2年度決算の評価は。国の感染症対応地方創生臨時交付金、災害復旧補助金の総額は。財政調整交付金の残額は。厳しい財政状況の中、自主財源の確保、未収金等の対策について伺う。
- A** 令和2年度の新型コロナウイルス感染症対策として、決算ベースで42億9,200万円。この財源のうち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が5億6,800万円。災害復旧事業については、決算ベースで13億2,600万円。このうち、激甚災害の指定による公共土木施設及び農業施設の復旧に係る国・県の補助金が3億700万円。その他の復旧事業費に充当した国・県の補助金が1億2,900万円。財政調整基金は22億2,981万円。厳しい財政運営を踏まえて財源確保については、新たな独自収入の創出を議論する新たな財源検討チームを立ち上げ、入湯税の超過課税の在り方や、ふるさと納税の増収策、ネーミングライツなど11月をめどに検討し、対策をまとめる。

※この他にコロナ感染症についての課題、防災・減災について質問した。



佐藤 孝昭 議員

由布市の幼児教育保育行政について

- Q** 由布市の幼稚園7園160人に、年間経費1億4,594万円をかけているが、保育園は11施設1,086人、1児童あたり60万円で運営している。30万円も高く経費をかけている幼稚園が選ばれていない現状をどう考えるのか。
- A** (教育長) 保護者の働き方改革で、放課後や土曜の預かり等が、幼稚園ではなかなかマッチしないということで選択が減ってきていると思っております。
- Q** この幼稚園経費を幼保連携やこども園化、民間委託をして節約出来たら保育園の3歳児までの第1子も保育料無料や給食費の無料化など他市にない子育てサービスをできるのでは。
- A** (市長) 御指摘のように給食費の無料化などの検討は、財政確保だけでなく総合的な観点から検討を加える必要があるので、実施に至っておりません。

ほかに「必要とされる幼稚園行政のあり方は」「谷幼稚園の休園」「議会ペーパーレスシステム導入」「新たな由布市過疎地域持続的発展計画の取組姿勢」「旧寿楽苑跡地活用に向けてのサウンディング型市場調査結果」等について質問しました。



佐藤 郁夫 議員

由布市過疎地域持続的発展計画について、他

- Q** これまでの過疎地域計画の移住・定住・地域間交流の総括とこれからの定住策は。
- A** 市全域で空き家バンク制度や移住者等居住支援事業を継続する。庄内地域は、空き家バンクの登録物件数も半分以上を占め移住者も多い。移住者を受け入れる環境を整える。
- Q** 将来の庄内地域を担う人材育成とは。
- A** 青少年を中心にあらゆる分野に関わる住民が、研修や交流を通し、創造性豊かなたくましい人材となるよう育成を進める。
- Q** 農業対策で「高収益な園芸品目等」への生産転換を進める上での事業とは。
- A** 「水田収益力強化ビジョン」で、産地交付金を活用し、白ネギやオクラなど定めた重点作物の作付けに助成を行う。
- Q** 売れる庄内米づくりとは。
- A** 温暖化により、水稻の品質低下が課題となっている。高温に強く、同程度の収量、食味が優れている「なつほのか」を採用し、来年度導入に取り組む。

その他、由布市立学校教育問題、新型コロナウイルス感染症対策を質問しました。



長谷川 建策 議員

旧湯布院公民館の跡地利用について、他

- Q** 旧湯布院公民館の跡地利用について聞く
- A** (市長) 解体のスケジュールは、10月に入札を予定、11月から今年度いっぱい解体工事を行う。由布院小学校児童の通学路等の安全対策及び地域住民への周知については、万全を期してまいる。誘導員の配置や通学時間帯の大型車両の進入制限など安全確保に万全を期す。旧公民館跡地にある青少年の塔や石碑については、解体時に合わせ、複合施設の敷地内に移転の予定。各商店街との協議、意見聴取等は、昨年3回の検討委員会で近隣の全商店街とヒアリングを実施した。子育て環境の整備や駅前へのアクセス改善など協議を重ね公民館跡地利用計画を策定する。(副市長) 駅前にある2000平米の土地は大変貴重な土地である。全てのものを入れ込んだ形が一番の理想なのか、今から詰める。
- Q** 令和2年7月豪雨災害の復旧の経過について聞く
- A** (建設課長) 本年8月末現在の復旧について、由布市内全91件、内発注82件、内90%完了との報告を受けた。



田中 廣幸 議員

由布市内の  
防災・減災について、他

Q 由布市内の防災・減災について

A 8月11日からの大雨について防災ラジオ・ホームページ・アラートの情報発信の効果はあった。今後市内では、屋外拡声子局の整備が完了次第運用を開始する。今回の大雨で災害復旧工事途中に一部が被災する事例が数件あったが、工期の遅れはない。防災ラジオの貸し出し・回収は、各地域振興課市民窓口係にて、ご案内している。

Q 新型コロナウイルスの市内学校・児童クラブの対応や子どもの過ごし方について

A 学校現場では、コロナ感染対策をこれまで以上に細心の注意を払いながら行なっている。地域の皆様や保護者の皆様、何よりも子ども達の不安に寄り添った対応を心掛けたい。児童クラブでは、密集する場面もあるが、支援員の方々のご努力により、子ども達のソーシャルディスタンスの確保に努めていただいている。



鷺野 弘一 議員

由布市災害ボランティア  
バイク隊について、他

Q 由布市災害ボランティアバイク隊を由布市機能別消防団に加入できないか。昨年発生した七月豪雨の際、社協と連帯し道路が寸断された地域へ出動しました。大分県、消防、警察と連携し防災訓練等に数多く参加している実績を評価できないか問う。

A (消防長) 現在、由布市消防本部では、ドローンを管理しており、定期的に訓練を行って、災害時の状況把握に活用しています。機能別消防団は由布市役所職員40名で構成され充実に取り組んでいきたいというふうを考えております。(災害時においてドローンの操縦距離1,700mとあるが、山間地を持つ由布市では本当に大丈夫か?引き続き調査します。)

Q 防火用水確保のため、冬季試験通水(冬場市街地の通水していない水路に水を流す)することはできないか。

A 市長)現在の防火栓が1,116ヶ所、防火水槽296ヶ所、防火水槽の水利が不足の場合は水路水、河川水などが主なものとなっております。



高田 龍也 議員

由布市の防災対策に  
ついて、他

Q コロナ禍、コロナ禍後の由布市民の可処分所得を向上させるための戦略を問う。

A (商工観光課長) コロナ禍においては、対処的な施策を事業者支援策、感染防止策、消費喚起策と状況を見極めながら対応してきた。コロナ禍後も効果的な事業展開を図ることが早い経済回復につながると考えます。  
(農政課長) 農業分野においては、飲食店や宿泊業の需要の落ち込みによる取引の減少と厳しい情勢であり、国・県で打ち出された支援策について周知してまいります。また、販路の多角化を図るため、情勢を注視しながら、市の定めた重点品目の拡大を進めたい。

Q コロナ禍後、ワクチン接種した人達に対しての由布市の観光対策を問う。

A (副市長) おそらく11月にはワクチン接種を希望される人には大体終わると考えおり、具体的な施策は、今、しっかりと市長の下、いろいろと検討している。

質問の詳細・その他質問は、由布市HPの由布市議会インターネット議会中継中の録画中継をご覧くださいませ。



太田 洋一郎 議員

水源地を守れ、他

Q 水源地周辺のメガソーラー計画について。湯布院町並柳地区の水源地周辺の開発計画が進行しているが、令和2年第3回定例会の一般質問で取り上げた際、市長は「影響を及ぼす恐れがある場合には、水源地保護条例に基づいて開発業者に指導する」と答弁された。ただ、現状では、水源保護審議会に水源保護区域の妥当性を諮問したと聞くと、市長に見解を問う。

A 8月11日に令和3年度第1回由布市水道水源保護審議会へ意見を求めており、その結果を踏まえ検討する。

Q 保護区域の見直しを検討するのではないかと。

A 見直しを検討するのではなく、事業計画案件についての意見を求めている。

Q 並柳の水源地は由布院盆地の約8割に給水をする大切な水源であり、汚染等により給水停止になる恐れがあることから、開発計画にはしっかりと対応を求めると。

A 審議会ですっきりと議論をしていただき、その意見に基づいて対応していく。

※その他、コミュニティバスの運行見直し、喫煙所設置とポイ捨て禁止条例制定について質問しました。

■ 令和3年第3回定例会で審査した請願・陳情の結果

区分		件名	代表提出者	結果
請願	R3 4	「大分県主要農作物等種子条例制定を求める意見書」に関する請願書	タネの会・由布 代表 深瀬 雅子	採択
請願	R3 5	請願書 (市道認定に関する請願)	乙丸区長 松本 文男 新町1自治委員 後藤 久生	採択
陳情	R3 1	湯平区・塚原区の切実な要望に寄り添い、バス業者の定時定路線から、住民も参加する中・小型車の「自家用有償運送」と「互助による輸送」の実験運行に1日も早く着手してください。	谷 千鶴 武内 良高  ※前回の紙面で請願者の氏名を誤って「竹内」と表記しておりました。上記が正しい氏名ですので、お詫びして訂正いたします。	継続審査
陳情	H29 8	私達は、市に対して、本件土地の売買契約書中の契約解除条項を誠実に履行することを求めます。	「共進会跡地のメガソーラー建設に反対する会」代表 江藤 和子	継続審査

■ 賛否一覧表

※○=賛成、●=反対、退=退席、欠=欠席、  
(令和3年第3回定例会)

議長代理(甲斐裕一)は採決に加わらない。

※その他の上程された議案については、全員賛成で可決、承認、認定、同意

議案名	議員名	議決結果 賛成 : 反対	佐藤	甲斐	工藤	田中	淵野	佐藤	長谷川	鷲野	加藤	太田	平松	加藤	田中	吉村	坂本	高田	佐藤
			人巳	裕一	安雄	真理子	けさ子	郁夫	建策	弘一	幸雄	洋一郎	恵美男	裕三	廣幸	益則	光広	龍也	孝昭
発議 8 大分県主要農作物等種子 条例制定を求める意見書	原案可決	9 : 6	欠	-	○	○	●	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	○

編集後記

稲穂もまぶしい十月、そして、議員には今期最後の任期となる十月でもあります。

後期の二年間「議会だより」をご愛読頂きありがとうございました。九人の仲間と意見を交わし、読みたくなる紙面を目指し頑張ってきましたが、如何でしたでしょうか。

来期も新体制での発行となりますが、目を通して頂ければ幸いです。

市の発展と皆様方のご多幸を願いお礼の言葉とします。

委員長 田中真理子



議会広報編集特別委員会

委員長	田中 真理子	副委員長	吉村 益則
委員	淵野 けさ子	佐藤 郁夫	長谷川 建策
	坂本 光広	高田 龍也	佐藤 孝昭



このQRコードは市議会のホームページにつながります。

次の由布市議会は11月30日(火)に開会予定です(令和3年第4回定例会)